

○道外所管事務調査 10月4日～6日

森林資源の循環活用で

林業再生先進モデルを

信州F・POWERプロジェクト

(長野県塩尻市)

〈概要〉

塩尻市は、長野県民間企業とともに、東京大学や信州大学との産学官民連携で、林業再生と再生エネルギー利用の循環型社会の形成と地域活性化を図る「信州F・POWERプロジェクト」に取り組んでいる。

森林資源活用の

利益を還元

長野県の森林面積は全国3位だが、素材生産量は全国43位と豊富な森林資源を活かし切れていない。

格の固定化を図る。

○長野県下における素材生産量を平成21年は30万5千㎡であるが、平成32年には75万㎡を予定している。

極めて少なく、大規模な木材加工工場がないことから、森林・林業の地域課題の解決のため、その資源を有効に活用して地域の活性化を図ってこ

うとするもので、リーダースhipを發揮して積極的、主体的に取り組まれた県全体のプロジェクトである。

プロジェクトは豊富な資源を背景として大規模な木材加工、そして加工から排出されるチップ、オガコなどを発電事業の原料として活用するなど資源の多面的有効活用が図られる総合的な事業である。

また、熱電併給事業が先行する中で原料確保につながる森林整備の拡充、拡大、そして包括的な施策の展開を、リーダースhipを發揮し主体性をもって積極的に図っていくことが、本町の安定的な持続性のある発展を図っていくためにも必要である。



集中型木材加工施設

〈所見〉

塩尻市の主たる産業は精密機器製造であるが、長野県は全国3位の森林面積を保有しながら、素材生産や木の消費量は

全国的なバックアップとともに、塩尻市が主体

的な支援を行うことによって、事業化が加速化されている。